

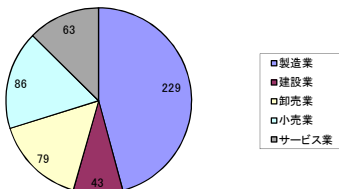
景気動向

業況は建設業で依然活況。製造業はわずかに改善。
先行きは建設業を除き、改善の見通し。

- 調査時点 平成25年10月調査(25年9月末時点)
- 対象企業 800社
- 回答企業 500社(回答率:62.5%)
(製造業229社、建設業43社、卸売業79社、
小売業86社、サービス業63社)
- 調査時期 四半期毎(3、6、9、12月末時点)

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	229
建設業	43
卸売業	79
小売業	86
サービス業	63



<全産業>

全産業の業況DI(▲14.6)は、前回(▲24.4)に比べ+9.8ポイント改善を示した。
業種別では製造業の業況DI(▲20.5)は、前回(▲31.9)に比べ+11.4ポイント改善を示した。
建設業の業況DI(30.2)は唯一プラスで、前回(7.7)に比べ更に+22.5ポイント改善を示した。
卸売業の業況DI(▲8.8)は前回(▲23.3)に比べ+14.5ポイント改善を示した。
小売業の業況DI(▲23.2)は前回(▲28.7)に比べ+5.5ポイント改善を示した。
サービス業の業況DI(▲19.0)は前回(▲13.1)に比べ-5.9ポイント悪化を示した。
各業種から来年の消費税増税に対する不安の声が多く「消費税増税による一時的な駆け込み需要があるかもしれないが、その反動が大きいと思われる。」等といった声があった。また、未だに原発事故による風評被害が続いているという声も多く、「原発事故の風評被害の影響等から未だ以前のレベルの売上回復には至っていない。」等の声があり、全体的に厳しい状況であるとの声が多くあった。

【3か月先見通し】

〈業況〉 今回=平成25年9月末
全産業では今回(▲14.6)から3か月先(▲3.2)と+11.4ポイント改善を見通している。
製造業では今回(▲20.5)から3か月先(▲5.2)と+15.3ポイント改善を見通している。
建設業では今回(30.2)から3か月先(16.2)とプラスを維持しているが、-14.0ポイント悪化を見通している。
卸売業では今回(▲8.8)から3か月先(0.0)と+8.8ポイント改善を見通している。
小売業では今回(▲23.2)から3か月先(▲7.0)と+16.2ポイント改善を見通している。
サービス業では今回(▲19.0)から3か月先(▲8.0)と+11.0ポイント改善を見通している。

■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
9月末時点	-14.6	-13.2	-27.2	-4.0
6月末時点	-24.4	-24.0	-32.2	-7.4
前回比	9.8	10.8	5.0	3.4

■全産業の業況

業況	9月末時点	6月末時点
良化	17.8	12.7
悪化	32.4	37.1
DI値	-14.6	-24.4
前回比	9.8	-1.1

■9月末時点からみた

全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	16.0
悪化	19.2
DI値	-3.2

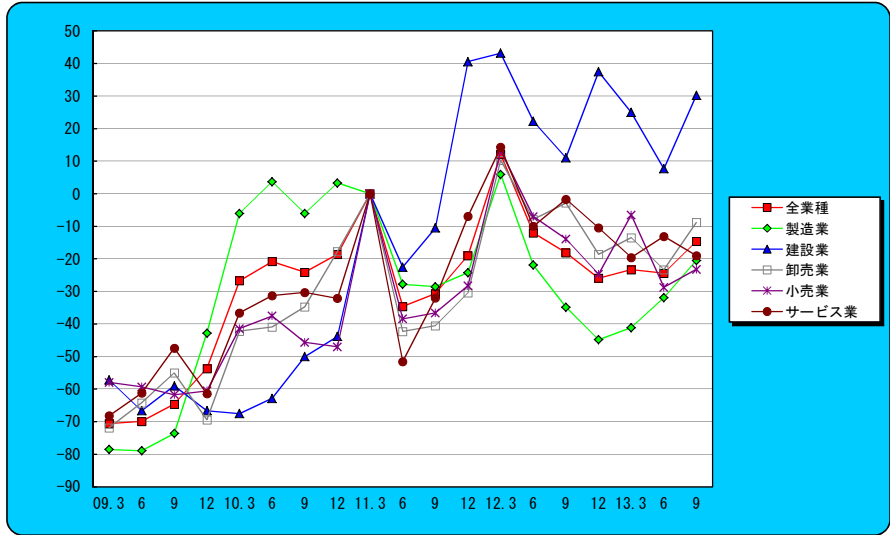
■製造業の業況

業況	9月末時点	6月末時点
良化	16.6	11.8
悪化	37.1	43.7
DI値	-20.5	-31.9
前回比	11.4	9.2

■非製造業の業況

業況	9月末時点	6月末時点
良化	18.8	13.4
悪化	28.4	31.2
DI値	-9.6	-17.8
前回比	8.2	-11.0

■業種別業況DI値推移グラフ



＜製造業＞

業況DI値	
今回	-20.5
先行き	-5.2
前回比	11.4

業況・売上・採算・資金繰りの全てでわずかに改善を示した。

〈業況〉

- ・大幅改善……「輸送用機器」
- ・改善……「酒造」、「プラスチック」
- ・わずかに改善……「食料品」、「ニット」、「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」、「精密機器」
- ・横ばい……「織物」、「縫製」、「窯業・土石」
- ・わずかに悪化……「木材・木製品」
- ・悪化……「印刷」

【3か月先見通し】

業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・大幅改善……「織物」
- ・改善……「縫製」、「木材・木製品」、「鉄鋼・非鉄」、「一般機械」、「精密機器」、「プラスチック」
- ・わずかに改善……「印刷」、「窯業・土石」、「金属」、「電気機器」
- ・横ばい……「食料品」、「ニット」
- ・悪化……「酒造」、「輸送用機器」

「原発事故以来、取引が停止した先の復活ができず、また新規取引先は風評被害が深刻で望めない。売上は落ち込んだまま厳しい状況である。」「震災特需が一段落し、今後は消費税増税を見越した駆け込み需要が多少見込める程度かと思われる。」「仕事が海外に流れているせいなのか、受注がなかなか増えません。」「売上は上がっているが、重油と原料の価格が非常に高い。」といった声があった。

自由意見

製造業

- 前年9月と比べ、採算は厳しい状態です。3か月先は、生産高悪化と予想している。【食料品】
- 原発事故以来、取引が停止した先の復活ができず、また新規取引先は風評被害が深刻で望めない。売上は落ち込んだまま厳しい状況である。【食料品】
- 原料米(特に県内産米)の調達が年々厳しくなっている。仕入単価の上昇にも響きそうに注視している。【酒造】
- 中国の円安の影響なのか、ようやく国内への生産回帰を肌で感じるレベルになってきた。【織物】
- 相双地区の人材不足は労働集約産業に大きく響く。取引先に加工賃の値上げ要求をしているが、販売価格が決まっておらず値上げは厳しい状況である。【縫製】
- 売上の減少は助成金があったので補えたが、まだまだ生産高は好転しない。【縫製】
- 使用材木は全て輸入に依存しており、円安により仕入価格が20%上昇しており、存続が厳しい状況です。【木材・木製品】
- 福島県は職人不足です。特に大工が不足して、工事が進まない状況です。【木材・木製品】
- 復興住宅はまだ、で大手メーカーが主力になっていると思う。原発事故以来、若者の県外脱出が相次ぎ経済の見通しが立たない状況です。除染業者以外は受注がない状態です。【木材・木製品】
- 同じ市内でも、復興産業集積区域の設定により不公平が生じています。【印刷】
- 製造業は、復興需要が少なくなっています。【印刷】
- 「採算」が前年に比べ悪化したのは、過剰と思われた人員が定年退職により減ったためです。3か月先は、毎年年末～年度末にかけては受注が多くなるため更に悪化が予想されます。【印刷】
- 印刷を主たる事業としているが、10月から原材料(用紙)の10%以上の値上げが決定しており、顧客への価格の転嫁も難しいため、厳しい状況が予想される。【印刷】
- 需要が高まり機械が不足気味です。仕入単価は値上がりしている。【窯業・土石】
- 震災特需が一段落し、今後は消費税増税を見越した駆け込み需要が多少見込める程度かと思われる。【窯業・土石】
- 除染等に人手が回り、人手不足が深刻。【窯業・土石】
- 人材不足は現状も続いている。全体的に波があり、仕事が平準化されない。【窯業・土石】
- 燃料費等経費の増加が多くなってきている。また、機械設備や車輛の老朽化も進んでいる。【窯業・土石】
- 前年度より、若干の改善はみられるがほぼ同じ状況。業界的に淘汰されている企業も見られるので、状況を見据えた的確な経営判断が必須である。【窯業・土石】
- 燃料費、材料費、産廃処理代などが値上がりし、利益が出づらい状況が続いています。【金属】
- 大企業の撤退などにより地域の不安が進んでいる。【一般機械】
- 鉄工機械関係の業界は、自動車関連を除き受注量が少なく、依然として厳しい状況が続いている。【一般機械】

- 仕事が海外に流れているせいなのか、受注がなかなか増えません。【一般機械】
- 原発事故の風評被害の影響等から未だ以前のレベルの売上回復には至っていない。また、新規ビジネスに取り組むも電子部品の業界の低迷もあり、なかなか量産化に結びついていないのが現状。【電機機器】
- 販売単価の値下げにより、経費の削減が課題である。【電機機器】
- 今年いっぱい、消費税増税による駆け込み需要が期待できるが、来年1月頃からは低迷が予想される。【輸送用機器】
- 部品の調達先が海外へと移行し、国内調達が減少した状況が続いている。今後、新規顧客の開拓が重要課題である。【輸送用機器】
- 加工の仕事が減少している上、コストダウンが厳しく、景気動向は報道と反している。先行きが心配である。【精密機器】
- 仕入単価が上昇しても、販売単価は上げられず大変です。【漆器】
- 売上は上がっているが、重油と原料の価格が非常に高い。【プラスチック】
- 受注減少と仕入単価の上昇で、利益を出すのが厳しい状況です。【プラスチック】
- 今後、諸経費並びに原材料の値上げが、大きく経営を圧迫する。【プラスチック】

<建設業>

業況DI値	
今回	30.2
先行き	16.2
前回は	22.5

対象企業	67
回答企業	43

業況で改善、売上でわずかに改善、資金繰りで横ばい、採算でわずかに悪化を示した。

<業況>

- ・改善……「土木」
- ・わずかに改善…「建築」

<売上>

- ・「土木」、「建築」ともにわずかに改善を示した。

<採算>

- ・わずかに改善…「土木」
- ・悪化……「建築」

<資金繰り>

- ・わずかに改善…「土木」
- ・横ばい……「建築」

【3か月先見通し】

業況・売上・採算・資金繰りの全てでわずかに悪化を見通している。

<業況・採算・資金繰り>

- ・「土木」、「建築」ともにわずかに悪化を見通している。

<売上>

- ・横ばい……「土木」
- ・わずかに悪化…「建築」

建設業界は、仕事量が多いという意見が多く「今までに経験ない仕事量である。しかし、4月以降が心配である。」「仕事量が多いものの、競争激化により採算ぎりぎりになっています。」「復旧工事が一部業者に集中し、地域全体の復旧になっていない。」といった声があった。

自由意見

建設業

- 今までに経験のない仕事量である。しかし、4月以降が心配である。【土木】
- 消費税が増税になれば、一時的な駆け込み需要があるかもしれないが、その反動が大きいと思われる。【土木】
- 仕事量が多いものの、競争激化により採算ぎりぎりになっています。【建設】
- 人材(職人)が不足している。【建設】
- 復旧工事が一部業者に集中し、地域全体の復旧になっていない。【建設】
- 住宅の修繕に関する問い合わせは依然多いのですが、自社の人材不足と外注先の確保が容易ではなく、結果的に対前年比で売上の伸びが鈍化してきている。【建設】

<卸売業>

業況DI値	
今回	-8.8
先行き	0.0
前回は	14.5

対象企業	115
回答企業	79

売上で改善、業況・採算・資金繰りでわずかに改善を示した。

<売上>

- ・大幅改善……「衣服」、「飲食料」、「鮮魚」
- ・わずかに改善…「青果物」、「機械器具」
- ・わずかに悪化…「建築材料」、「その他」

【3か月先見通し】

業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを見通している。

<売上>

- ・わずかに改善…「青果物」「機械器具」、「建築材料」、「その他」
- ・横ばい……「衣服」、「鮮魚」
- ・わずかに悪化…「飲食料」

「あくまでも前年同月と比べれば良化しているだけで、震災・原発事故前とは比べようもない程悪化している。」「きのこ等から基準値超の放射性物質が検出され、農産物が売れない状況です。」「復興需要がなくなってきた。」といった声があった。

自由意見

卸売業

- あくまでも前年同月と比べれば良化しているだけで、震災・原発事故前とは比べようもない程悪化している。【飲食料】
- きこの等から基準値超の放射性物質が検出され、農産物が売れない状況です。【青果物】
- 資材、生コン等の値上がりや職人不足等が懸念される。【建築材料】
- 復興需要がなくなってきた。【建築材料】
- 業況は全般的に大きく変わっていないが、どちらかと言えば昨年にならぶ悪くなってきていると感じます。この先3カ月はあまり変わらないと思うが、1、2年で言えば悪化するのではないかと危惧しています。【建築材料】
- 震災後の仕事量は増えているが、工期が遅れて大変である。【建築材料】
- 今後地方都市においては、地場産業のウェイトが大きくなると予想される。特に町作り。(建設業界との結びつき)【その他】

<小売業>

業況DI値	
今回	-23.2
先行き	-7.0
前回比	5.5

対象企業	138
回答企業	86

業況でわずかに改善、売上・採算・資金繰りで横ばいを示した。

<業況>

- ・改善……「自動車販売」
 - ・わずかに改善……「飲食料」、「家具・建具」、「その他」
 - ・横ばい……「家電品」、「大規模店」
 - ・悪化……「中小スーパー」、「衣料」
- 【3カ月先見通し】

業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを見通している。

<業況>

- ・改善……「中小スーパー」、「衣料」、「その他」
- ・わずかに改善……「家電品」、「自動車販売」、「家具・建具」
- ・横ばい……「大規模店」
- ・わずかに悪化……「飲食料」

「原発事故以降、子供の数の減少や住民の転出があり、それまで築いてきたものが活かせず、以前と同じ状況では商売ができていません。」「消費税増税と仕入単価の上昇にどう対応していくか課題。」といった声がある一方、少数意見ではあるが「少しずつではありますが、活気が戻ってきたように感じます。」といった明るい声もあった。

自由意見

小売業

- 原発事故以来、未だに風評被害があり客数は少ない状態です。今年で3年目になるので、紅葉時期には観光客の回復を期待しています。【中小スーパー】
- 原発事故による風評被害が改善せず、農業関係者の所得が減少し商店街は苦戦を強いられている。このような経済状況の中、消費税増税となるとさらに厳しい。【衣料】
- 顧客の高齢化による客数の減少、円安の影響による商品仕入単価の上昇による業況悪化。【衣料】
- 原発事故以降、子供の数の減少や住民の転出があり、それまで築いてきたものが活かせず、以前と同じ状況では商売ができていません。【衣料】
- 顧客増が見込まれないなかでの売上増は、外販しかないと思われるが、それによる人件費の増加により、苦しくなると思われる。【飲食料】
- 消費税増税と仕入単価の上昇にどう対応していくか課題。【飲食料】
- 働く人がおらず、また人件費が上昇している。【飲食料】
- ファミたんカード(福島県子育て応援パスポート)加盟店ですが、子供客が少なく寂しい。【飲食料】
- 店の前の道路の整備により雰囲気は良くなり、売上が向上しました。【飲食料】
- 少しずつではありますが、活気が戻ってきたように感じます。【飲食料】
- 業況は良化しているが、資金繰りは厳しく苦しい状態のままである。【家電品】
- 今の所、景気の変化はないが、消費税が上がる4月から問題です。【自動車販売】
- 今後の消費税増税により、受注の減少が予想される。【自動車販売】
- 店舗・社屋改築(グループ補助金)のため、売上等は前年比2/3程度の見込み。【自動車販売】
- 原材料や輸入単価の値上がりにより、10~20%仕入単価が値上がりしています。逆に販売単価は伸びず、値下がり傾向にあります。【家具・建具】
- 平成25年度産米穀の価格が下落し、その影響で売上高の減少になっている。【その他】
- 人材不足。【その他】
- 地元いわき市の農業は急速に疲弊しているように感じられる。有機農業関連資材の製造販売は厳しい環境ながらも、新しい農業観を持つ農家の支援に力を入れたい。【その他】

<サービス業>

業況DI値	
今回	-19.0
先行き	-8.0
前回は	-5.9
対象企業 103	
回答企業 63	

売上・採算でわずかに改善、業況・資金繰りでわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・改善……「情報サービス」
- ・わずかに改善……「観光旅館」
- ・わずかに悪化……「運送」、「その他」
- ・悪化……「タクシー」、「自動車整備」

〈売上〉

- ・改善……「観光旅館」、「情報サービス」、「その他」
- ・横ばい……「タクシー」
- ・わずかに悪化……「運送」、「自動車整備」

【3か月先見通し】

業況・採算でわずかに改善、売上・資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善……「情報サービス」
- ・わずかに改善……「観光旅館」、「タクシー」、「運送」
- ・横ばい……「自動車整備」、「その他」

〈資金繰り〉

- ・改善……「情報サービス」
- ・わずかに改善……「タクシー」、「運送」
- ・横ばい……「その他」
- ・わずかに悪化……「自動車整備」
- ・悪化……「観光旅館」

「運送事業においてトラックに使用する燃料の高騰は深刻な問題である。またトラック運転手の確保が難しく、仕事を受けることが困難になっている。」「消費税の値上げとなると、業況はより厳しくなる。」「来店客数が減少しており、外販で何とか維持しています。」といった声があった。

自由意見

サービス業

- 浴場の復旧工事のため、客数は大幅に減少しました。【旅館・ホテル】
- 運送事業においてトラックに使用する燃料の高騰は深刻な問題である。またトラック運転手の確保が難しく、仕事を受けることが困難になっている。【運送】
- 消費税の値上げとなると、業況はより厳しくなる。【運送】
- 燃料の高騰に困っています。【運送】
- いわき、中通り地区で社員募集しても集まらない状況です。【運送】
- 補助金を使っても復興が進んでいない福島県の現状に、他県の見方は厳しい。今後の営業にも影響があるのではないか。【情報サービス】
- スキルを備えた人材が不足しています。【情報サービス】
- 来店客数が減少しており、外販で何とか維持しています。【その他】
- 緩やかな業態の転換が必至である。【その他】